

第 2 回 議会改革特別委員会報告

平成 3 1 年 2 月 1 9 日

午後 5 時～ 7 時まで：議会事務局室

佐藤委員長、福澤副委員長、後藤章人委員
下平委員、中森委員、下岡議長（オブザーバー）

委員会に諮問された 1 0 項目を検討。まず「通年議会」を検討する上で必要な年間計画における必要事項をブレインストーミング方式で付箋に書き出し、1 年間の日程を整理することから始めました。

議会活動・委員会活動における準備・審議・提言までの 1 工程に必要な期間を定め年間計画を策定します。



第2回 議会改革特別委員会

- 1、開会
- 2、あいさつ
- 3、協議事項

① 年間計画の落とし込み

- ・ 各月の重要項目を確認し、年間スケジュールの中で会期を検討する。

② 委員会のスケジュール確認

- ・ 各付託課題の検討スケジュールと検討方法の確認

1) 通年議会を含めた議会会期の検討	月
・ 年間スケジュールの落とし込み。他に考慮すべき内容は？	
・	
2) 効果的かつ効率的な予算審査と決算認定審査の手法の提案	月
・ 予算審査：	
・ 決算認定： 事務事業評価シートを活用。施策評価シートも用いたら？	
3) 年間を通した事業遂行状況の確認と事業評価についての提案	月
・ 施策評価シートの活用。議会としての評価。定例監査報告。	
・	
4) 女性及び若年層の議員のなり手確保の方策の検討	月
・ 現在の取り組みが住民（特に若い世代）に伝わっているか？ 伝える方法は？	
・	
5) 災害発生時における議会・議員の活動マニュアルの作成	月
・ 中森議員の提出されたマニュアルの検討。	
・	
6) 議会モニターの議会参画、発言機会の確保の方策の検討	月
・ 年1回の懇談会だけで十分か？	
・	
7) 村主催の各種会議への議会代表議員参加の可否	月
・ 議員派遣の内容、回数等確認。	
・	
8) 議員定数についての議会の見解のまとめ	月
・ 議員定数の根拠を示す。（常任委員会と委員の数から最低限必要な数・住民の多様性）	
・	
9) 費用弁償（村主催の会議へ議員が参加した場合のみ）の可否	月
・ 村主催会議の数と内容、議員以外の委員の現状把握。他町村の状況把握は？。	
・	
10) 議員報酬についての議会の見解のまとめ	9 月まで
・ 根拠を示す。	
・	